

三十年戦争とハプスブルク家

メタデータ	言語: jpn 出版者: 明治大学人文科学研究所 公開日: 2013-05-22 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 菊池, 良生 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10291/14473

ルの占星術師兼天文学者のパウル・ナーゲルはこの巨大な彗星の出現を土星と火星の影響であると診た。ギュンター・ヴラウディオの解説(『ドイツ戦争』)によるとナーゲルの理論はこうなる。すなわち、土星は太陽を一周するのに30年、火星は12年、併せて42年。この年数は当時の平均寿命に相当する。「40年という人の生涯を見極めることは一万年以上を探求するに等しい」と古代ローマの哲人皇帝マルクス・アウレリウスはいみじくも言ったが、一万年以上の歳月が40数年に凝縮されて1618年、凶々しい巨大な星が一つ流れて消えたというわけだ。それではその42年前、すなわち1576年とはどんな年か。神聖ローマ帝国皇帝マクシミリアン2世の逝去。

宗教改革第2世代のマクシミリアン帝は宗教改革とトリエント公会議以来のカトリックとプロテスタントの熾烈な争いの血飛沫を浴びて斃れた。「コスモポリタンで、人文主義、エラスムス主義キリスト教の代表者」という現代の史家の人物評に現れているように帝は「カトリックでもなく、プロテスタントでもない、一人のキリスト教徒」としてドイツの宗教和議に苦闘する。しかしコスモポリタンは地域エゴにあっさり捻り潰され、人文主義、エラスムス主義キリスト教は、「不合理故に我信ず」で凝り固まった凄まじい教条主義に弾き飛ばされた。帝の宗教的立場はニコデモ主義と断罪されたのである。ニコデモとはパリサイ人でありながら、イエス・キリストに教えを乞い、裁判の際にイエスを弁護し、彼の埋葬に力を貸したサンヒドリ議員のことである。ところが『新約聖書』にはそのニコデモが明確に信仰告白をしたという記述がない。これは宗教分裂の時代には決して許されなかった。帝は宗教紛争になす術もなかった。そして1576年、「余の司祭は天におわす」と臨終の秘蹟を拒否して逝った…。(以下、研究成果報告に掲載)

三十年戦争とハプスブルク家

菊池 良生

Der dreißigjährige Krieg und das Haus Habsburg

Yoshio KIKUCHI

ことは、占星術と天文学が紙一重の時代、すなわち17世紀ヨーロッパの話である。1618年11月、巨大な彗星が天を焦がし地平線に消えた。人々は例によってこれを戦争、ペスト、飢えの到来の凶兆と診て恐れ戦いた。秘数術に長けた占星術師兼天文学者たちはもっと込み入った卦をたてる。例えばバーゼ